

当別町地域公共交通活性化協議会

平成20年2月1日設置
平成20年3月26日連携計画策定



概要

当別町は、地形が南北に長いほか、東西に市街地が二極化しており、また、札幌市や江別市といった都市に隣接していることなどによって、自動車への依存が非常に高い地域であるが、コミュニティバスの運行、公共交通利用促進策の実施、公共交通サービスの情報提供等により、町内交通モードを自動車から公共交通へ転換させる。

○「当別ふれあいバス」の運行

- ・当別町、北海道医療大学、北洋株式会社、医療法人社団とうべつ整形外科の4者による費用負担により、コミュニティバス「当別ふれあいバス」の運行を継続。
- ・JRあいの里公園駅からJR最終便に接続した「深夜バス」を新たに運行。
- ・バスを利用して図書や農産物・郵便物を輸送する「物流システム」の導入を検討。

○設備の充実

- ・バス停留所のデザインの改善や待合所の設置を進める。
- ・ノンステップバスの導入を検討。
- ・JR石狩当別駅及び石狩太美駅等において、バス・JRの運行状況等を表示する情報提供システムを整備。
- ・バス車内の音声アナウンスシステムを導入。

○公共交通の利用促進策の実施

- ・住民等に対し、利用促進パンフレットやニュースレターの配布、講演会やセミナーの実施、定期的なアンケートの実施等。
- ・小中学生に対し、「交通すごろく」や「交通日記」による交通教育を実施。
- ・使用済みてんぷら油の回収システムを導入し、BDFを製造して、バスの燃料とする。
- ・ラッピングバスの運行。
- ・ノーマイカーデーを実施。

複数のバスを統合した当別版コミュニティバスの運行

